

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成27年3月26日 (2015.3.26)

【公開番号】特開2013-168827(P2013-168827A)
 【公開日】平成25年8月29日 (2013.8.29)
 【年通号数】公開・登録公報2013-046
 【出願番号】特願2012-31392(P2012-31392)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 1/00 (2006.01)

B 4 1 J 29/38 (2006.01)

G 0 6 F 3/12 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 1/00 C

B 4 1 J 29/38 Z

B 4 1 J 29/38 D

G 0 6 F 3/12 K

【手続補正書】

【提出日】平成27年2月5日 (2015.2.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

画像形成装置であって、

指定期間内に前記画像形成装置をシャットダウンする電源断タスクを指定する第 1 指定手段と、

指定期間内に前記画像形成装置に設定されている設定の各項目に対する設定を行う設定工程と該設定工程の後に前記画像形成装置を再起動する再起動工程を行う設定タスクを指定する第 2 指定手段と、

前記指定された前記電源断タスクおよび前記設定タスクの実行を制御するタスク制御手段とを有し、

前記タスク制御手段は、設定タスクの設定工程における設定の開始前の待機中に電源断タスクによる前記画像形成装置のシャットダウンが開始される場合には、当該設定タスクを実行することなく当該電源断タスクによるシャットダウンが実行されるように制御し、

前記タスク制御手段は、さらに、設定タスクの再起動工程における再起動の開始前の待機中に電源断タスクによる前記画像形成装置のシャットダウンが開始される場合には、当該設定タスクの再起動工程における再起動を行うことなく当該電源断タスクによるシャットダウンが実行されるように制御することを特徴とする画像形成装置。

【請求項 2】

前記タスク制御手段は、前記電源断タスクの指定期間の後端が、前記設定タスクの指定期間の先端から設定工程が完了すると予想される日時までの期間に含まれる場合、前記設定タスクを一旦キャンセルするとともに前記画像形成装置の次回起動時に実行されるように再スケジュールリングして、前記電源断タスクを実行するように制御することを特徴とする請求項 1 に記載の画像形成装置。

【請求項 3】

前記タスク制御手段は、前記電源断タスクの指定期間の後端が、前記設定タスクの設定工程が完了すると予想される日時から前記設定タスクの再起動工程により再起動される前記画像形成装置の再起動が完了すると予想される日時までの期間に含まれる場合、前記設定タスクの前記設定工程を実行し、さらに前記設定タスクの前記再起動工程をキャンセルし、前記電源断タスクを実行するように制御することを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の画像形成装置。

【請求項 4】

前記タスク制御手段は、前記電源断タスクの指定期間の後端が、前記設定タスクの再起動工程により再起動される前記画像形成装置の再起動が完了すると予想される日時より以降となる場合、前記設定タスクの前記設定工程を実行し、前記電源断タスクを一旦キャンセルするとともに前記画像形成装置の次回起動時に実行されるように再スケジュールリングして、前記設定タスクの再起動工程を実行するように制御することを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の画像形成装置。

【請求項 5】

前記タスク制御手段が前記設定タスクの前記再起動工程をキャンセルしたにもかかわらず、前記電源断タスクが実行されなかった場合に、所定のユーザに通知を行う通知手段を有することを特徴とする請求項 3 に記載の画像形成装置。

【請求項 6】

前記通知は、手動により前記画像形成装置を再起動することを促す通知であることを特徴とする請求項 5 に記載の画像形成装置。

【請求項 7】

所定のユーザからの指示に応じて前記電源断タスクをキャンセルするキャンセル手段を有し、

前記電源断タスクが実行されなかった場合とは、前記キャンセル手段により前記電源断タスクがキャンセルされた場合を含むことを特徴とする請求項 5 又は 6 に記載の画像形成装置。

【請求項 8】

前記第 1 指定手段は、前記指定期間内に待機ジョブの実行が終了しない場合でも前記電源断タスクを実行する強制実行指示の有無を含む指示を行うものであり、

前記電源断タスクが実行されなかった場合とは、前記電源断タスクに前記強制実行指示がなされておらず前記電源断タスクの指定期間内に待機ジョブの実行が終了しなかった場合を含むことを特徴とする請求項 5 乃至 7 のいずれか 1 項に記載の画像形成装置。

【請求項 9】

前記タスク制御手段は、前記電源断タスクの指定期間の後端が、前記設定タスクの指定期間の先端から設定工程が完了すると予想される日時までの期間に含まれる場合であっても、前記電源断タスクの指定期間の先端が、前記設定タスクの設定工程が完了すると予想される日時よりも先である場合には、前記電源断タスクを前記設定タスクの設定工程の直後に実行するように再スケジュールリングして、前記設定タスクの設定工程を実行するように制御することを特徴とする請求項 2 乃至 8 のいずれか 1 項に記載の画像形成装置。

【請求項 10】

画像形成装置における制御方法であって、

指定期間内に前記画像形成装置をシャットダウンする電源断タスクを指定する第 1 指定ステップと、

指定期間内に前記画像形成装置に設定されている設定の各項目に対する設定を行う設定工程と該設定工程の後に前記画像形成装置を再起動する再起動工程を行う設定タスクを指定する第 2 指定ステップと、

前記指定された前記電源断タスクおよび前記設定タスクの実行を制御するタスク制御ステップとを有し、

前記タスク制御ステップでは、設定タスクの設定工程における設定の開始前の待機中に電源断タスクによる前記画像形成装置のシャットダウンが開始される場合には、当該設定

タスクを実行することなく当該電源断タスクによるシャットダウンが実行され、

前記タスク制御ステップでは、さらに、設定タスクの再起動工程における再起動の開始前の待機中に電源断タスクによる前記画像形成装置のシャットダウンが開始される場合には、当該設定タスクの再起動工程における再起動を行うことなく当該電源断タスクによるシャットダウンが実行されることを特徴とする制御方法。

【請求項 11】

コンピュータを、請求項 1 乃至 9 のいずれか 1 項に記載された手段として機能させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明は、画像形成装置であって、指定期間内に前記画像形成装置をシャットダウンする電源断タスクを指定する第 1 指定手段と、指定期間内に前記画像形成装置に設定されている設定の各項目に対する設定を行う設定工程と該設定工程の後に前記画像形成装置を再起動する再起動工程を行う設定タスクを指定する第 2 指定手段と、前記指定された前記電源断タスクおよび前記設定タスクの実行を制御するタスク制御手段とを有し、前記タスク制御手段は、設定タスクの設定工程における設定の開始前の待機中に電源断タスクによる前記画像形成装置のシャットダウンが開始される場合には、当該設定タスクを実行することなく当該電源断タスクによるシャットダウンが実行されるように制御し、前記タスク制御手段は、さらに、設定タスクの再起動工程における再起動の開始前の待機中に電源断タスクによる前記画像形成装置のシャットダウンが開始される場合には、当該設定タスクの再起動工程における再起動を行うことなく当該電源断タスクによるシャットダウンが実行されるように制御することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 15

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 15】

